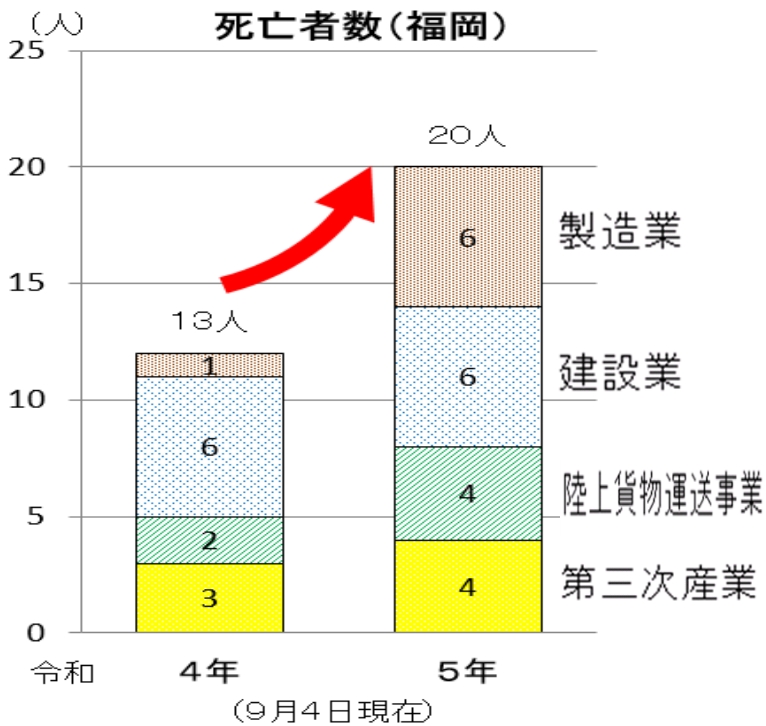


死亡災害多発に伴う労働災害防止の取組強化を！

労働災害による死亡者が増加しています！

福岡県内の労働災害による死亡者は、令和4年は20人と過去最少を記録しました。しかし、令和5年に入り死亡災害が多発しており、9月4日現在で20人もの尊い命が失われています。これは、**前年同期比で7人増**という極めて憂慮すべき状況です。

このように、福岡県内の死亡災害が多発している現状をご理解いただき、本年12月末までの間、死亡災害の撲滅に向けた取組への強化を図ってください。



死亡災害発生事例（令和5年）

工場内でロールの清掃作業中、被災者が右手にウエスを持ちロールを回転させながら行っていたところ、腕等をロールに巻き込まれた。

マンション新築工事現場にて深さ約4mの掘削床を敷均していたところ地山が崩壊し被災者が生埋めとなった。

荷主事業場にてトラック荷台からフォークリフト(他社労働者が運転)を使用して荷を運搬していたところ、同機がバランスを崩し、崩れ落ちた荷が被災者に当たった。

被災者は片側2車線の左車線に貨物自動車を停車させ道路上に降りていたところ、後方から走行してきた軽自動車に激突された。

ビル床面の洗浄作業で、ポリッシャーのプラグを差したところ、スイッチが「入」の状態であったため同機が激しく回転し、電気コードが被災者の首に巻き付いた。

被災者は朝から工場勤務し、終業後、夕刻に自転車で帰宅していたところ、熱中症により倒れた。

労働災害防止のためのチェックリスト

このチェックリストは、労働災害に関して、事業者において講ずべき対策のうち主要なものを取りまとめたものです。事業場内の労働災害防止対策の実施状況について確認しましょう！

1 安全衛生教育を実施していますか？

1	労働者の雇入れ時、作業転換時に労働災害防止に関する教育を実施している	<input type="checkbox"/>
2	管理的な業務を行う労働者に対し安全衛生管理に関する教育を実施している	<input type="checkbox"/>
3	法定資格の必要な作業には、資格者を配置している	<input type="checkbox"/>
4	機械等の操作に関して作業実態に応じた安全衛生教育を実施している	<input type="checkbox"/>

2 転倒災害防止のための措置を講じていますか？

1	身の回りの整理・整頓を行い、通路や階段、出口に物を放置しない	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いている	<input type="checkbox"/>
3	作業靴は、作業現場に合った耐滑性を有し、かつサイズのあったものを着用させている	<input type="checkbox"/>
4	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけている	<input type="checkbox"/>

3 墜落・転落災害防止のための措置を講じていますか？

1	高所やピット等で墜落・転落の恐れのある箇所には、囲い、手すり、覆いなどを設けている	<input type="checkbox"/>
2	トラックやコンテナ等へのシート掛け・シート外しを行う際は、安全な作業床の設置、又は、墜落制止用器具及び保護網を使用させている	<input type="checkbox"/>
3	高さ2m以上の箇所や足場等の設置が困難な箇所では、適切な墜落制止用器具を使用させている	<input type="checkbox"/>
4	高い位置の作業では作業台を設置し、はしごや脚立は極力使用させない	<input type="checkbox"/>

4 機械へのはさまれ・巻き込まれ災害防止のための措置を講じていますか？

1	機械の駆動部など、はさまれ・巻き込まれの恐れのある箇所には、覆いを設ける等の措置を講じている	<input type="checkbox"/>
2	機械の清掃、検査、修理、調整等の作業を行う際は、機械の運転の停止を確認したうえで作業を行っている	<input type="checkbox"/>
3	上記作業のため運転を停止している機械について、起動装置に表示板をかける等、他の労働者が運転することを防止する対策を講じている	<input type="checkbox"/>

5 交通労働災害防止のための措置を講じていますか？

1	労働者に対して交通労働災害防止にかかる教育を実施している	<input type="checkbox"/>
2	運転業務の前に体調、飲酒の状況等を確認している	<input type="checkbox"/>
3	運行経路における交通安全情報マップを作成し、労働者に周知している	<input type="checkbox"/>

6 高齢労働者に配慮した措置を講じていますか？

1	通路を含め、安全に移動できるように十分な明るさ（照度）を確保している	<input type="checkbox"/>
2	警報音等は聞き取りやすい中低音域の音とし、パトライト等は有効視野内に設置している。	<input type="checkbox"/>
3	階段には手すりを設け、可能な限り通路の段差を解消している	<input type="checkbox"/>
4	不自然な作業姿勢をなくすため作業台の高さや作業対象物の配置を考慮している	<input type="checkbox"/>

7 労働災害防止に関する情報を共有するための措置を講じていますか？

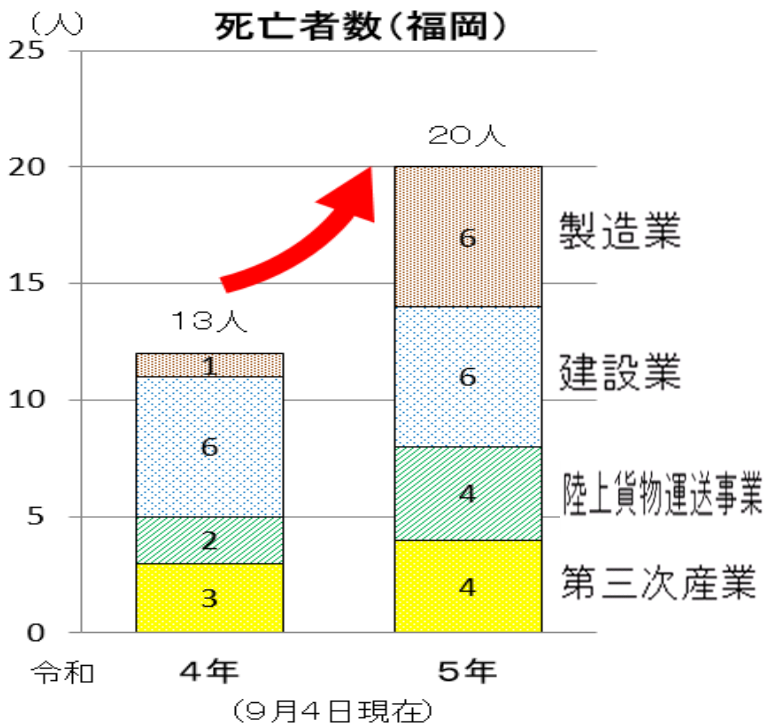
1	ヒヤリ・ハット情報を収集し、事業場内外の危険箇所を把握している	<input type="checkbox"/>
2	事業場内外における危険箇所について、労働者間で情報を共有している	<input type="checkbox"/>
3	危険箇所について見える化を図り、注意喚起を行っている	<input type="checkbox"/>
4	事業場内や配送経路における危険マップを作成し共有している	<input type="checkbox"/>
5	危険予知訓練（KYT）を導入し、実施している	<input type="checkbox"/>
6	リスクアセスメントを導入し、リスク低減措置を講じている	<input type="checkbox"/>

労働災害による死亡者が増加しています！

福岡県内の労働災害による死亡者は、令和4年は20人と過去最少を記録しました。しかし、令和5年に入り死亡災害が多発しており、9月4日現在で20人もの尊い命が失われています。これは、**前年同期比で7人増**という極めて憂慮すべき状況です。

また、死亡者数20人のうち6人(30%)を製造業が占めています。

このように、福岡県内の死亡災害が多発している現状をご理解いただき、本年12月末までの間、死亡災害の撲滅に向けた取組への強化を図ってください。



安全点検チェックシート

チェック項目	
<input type="checkbox"/>	安全衛生管理計画を作成し、計画的に実施していますか
<input type="checkbox"/>	機械による「はさまれ・巻き込まれ」防止対策に取り組んでいますか
<input type="checkbox"/>	作業場所や作業方法の、危険なポイントや禁止事項を把握し周知していますか
<input type="checkbox"/>	使用する機械や取扱う材料等の危険性や有害性を把握し周知していますか
<input type="checkbox"/>	機械の修理・掃除・検査・給油・調整の際に機械を停止させていますか
<input type="checkbox"/>	機械の定期自主検査や作業開始前点検を行っていますか。
<input type="checkbox"/>	就業制限業務等には有資格者を従事させていますか
<input type="checkbox"/>	安全通路を床面等に表示していますか。床面には躓きがなく滑りにくい材質ですか
<input type="checkbox"/>	リスクアセスメントに取り組んでいますか
<input type="checkbox"/>	4S活動を励行していますか

死亡災害発生事例（令和5年 製造業）

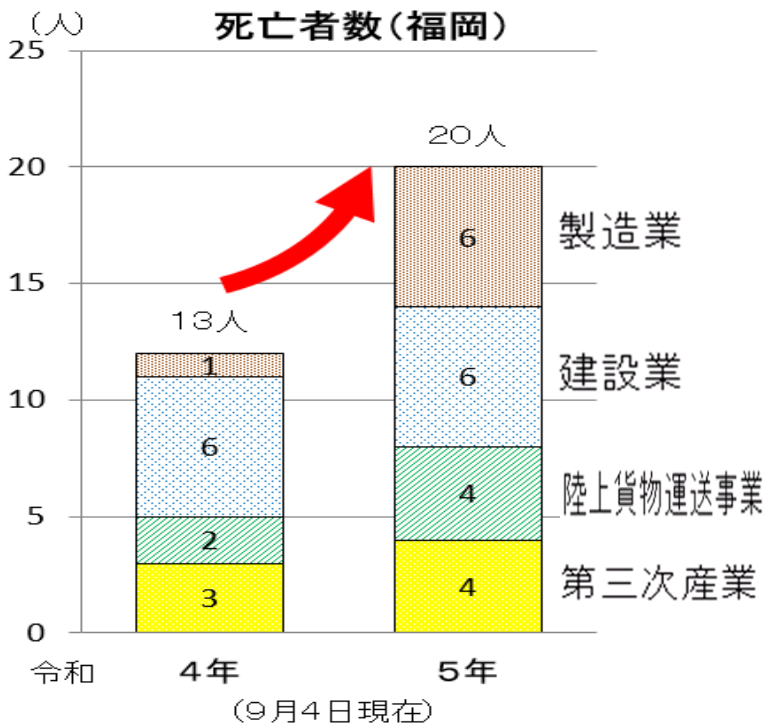
番号	発生時間帯	業種	労働者数	年齢性別	災害発生状況	事故の型	起因物（中分類）
1	13:00～14:00	金属製品製造業	1～9	30代女	鉄骨構造物の上部デッキ(高さ約42m)において、被災者が塗装作業を行っていたところ、その開口部から地上に墜落した。	墜落,転落	仮設物,建設物,建築物等
2	18:00～19:00	鉄鋼業	50～99	30代男	工場においてロールの清掃作業を被災者が右手にウエスを持ち回転させながら行っていたところ、腕等をロールに巻き込まれた。	はさまれ,巻き込まれ	一般動力機械
3	9:00～10:00	金属製品製造業	300～	20代男	被災者が金型を棚(3段、高さ約2m,幅約1.5m)へ収納するため、中段の棚板を引き出したところ、その勢い及び偏荷重により棚が倒れその下敷となった。	崩壊,倒壊	用具
4	9:00～10:00	金属製品製造業	10～29	60代男	トラック荷台側面端部で荷(鋼管(長さ約5m)の束(約50本を結束)の玉掛けを外した後、移動式クレーン運転士に合図し玉掛け用具の巻上げをさせていたところ、荷が被災者の方へ転がり荷とともに地面に墜落下敷となった。	崩壊,倒壊	荷
5	17:00～18:00	衣服その他の繊維製品製造業	50～99	30代男	被災者は工場での作業を終え、夕方、自転車で帰宅していた。路上で倒れている被災者が、近くの農業従事者に発見された。	高温・低温の物との接触	環境等
6	9:00～10:00	その他の製造業	1～9	50代男	車両系荷役運搬機械の前輪タイヤを後輪に付け替え、前輪部分に新品のタイヤを装着する作業において、前輪をホイールごと取り外そうとしていたところ、タイヤが突然飛び出し、タイヤの正面にいた被災者が吹き飛ばされた。	飛来,落下	動力運搬機

労働災害による死亡者が増加しています！

福岡県内の労働災害による死亡者は、令和4年は20人と過去最少を記録しました。しかし、令和5年に入り死亡災害が多発しており、9月4日現在で20人もの尊い命が失われています。これは、**前年同期比で7人増**という極めて憂慮すべき状況です。

また、死亡者数20人のうち6人(30%)を建設業が占めています。

このように、福岡県内の死亡災害が多発している現状をご理解いただき、本年12月末までの間、死亡災害の撲滅に向けた取組への強化を図ってください。



安全点検チェックシート

チェック項目	
<input type="checkbox"/>	安全衛生管理計画を作成し、計画的に実施していますか
<input type="checkbox"/>	店社（代表者又は管理者）による工事現場の安全巡視を行っていますか
<input type="checkbox"/>	墜落・転落災害の防止に関するリスクアセスメントに取り組んでいますか
<input type="checkbox"/>	高さ2m以上の箇所には足場等を組み立て作業床を設けていますか
<input type="checkbox"/>	墜高さ2m以上の作業床の端、開口部等に墜落防止設備を設けていますか
<input type="checkbox"/>	高さ1.5m以上の箇所には昇降設備を設けていますか
<input type="checkbox"/>	保護帽及び墜落制止用器具を適切に着用していますか
<input type="checkbox"/>	建設機械、クレーン等の作業計画について、関係者との連絡調整をしていますか
<input type="checkbox"/>	車両系建設機械との接触防止措置を徹底していますか
<input type="checkbox"/>	就業制限業務従事者の資格確認は原本で行っていますか

死亡災害発生事例（令和5年 建設業）

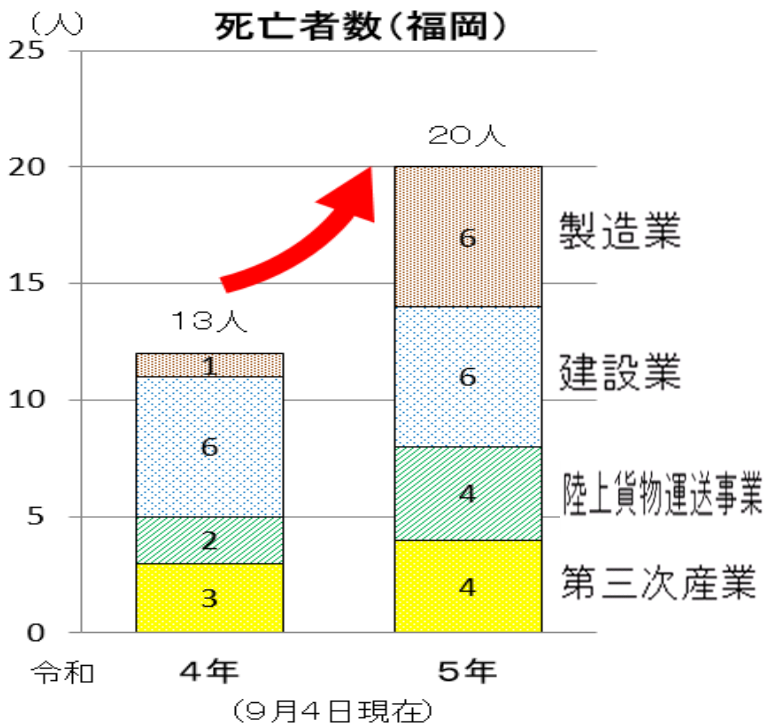
番号	発生時間帯	業種	労働者数	年齢性別	災害発生状況	事故の型	起因物（中分類）
1	13:00～14:00	建築工事業	1～9	60代男	被災者が解体中のビル4階床面端部で荷を抱え歩いていたところ、瓦礫につまづき地上に墜落した。	墜落、転落	仮設物、建築物、構築物等
2	10:00～11:00	建築工事業	10～29	30代男	トレーラー荷台上へ移動式クレーンを使用して荷（シートパイル1束）を積み込む作業を行っていた。 荷台上の被災者が荷の玉掛けを外しフックを巻き上げたところ、フックに掛かっていたワイヤーロープが荷に引っかかり被災者側へ倒れ、荷とともに地面へ墜落した。	墜落、転落	動力クレーン等
3	16:00～17:00	土木工事業	30～49	70代男	被災者は工場にてコンベア上の原料に紛れている異物を取り除く作業を行っていた。 作業を終了し事務所に向かって歩いていたところ、他社の労働者が運転していた車両系建設機械に轢かれた。	はさまれ、巻き込まれ	建設機械等
4	8:00～9:00	土木工事業	1～9	40代男	被災者は杭打機のオーガ（スクリュロッド）を引き抜いた後、運転停止しオーガに近づいたところ、オーガに付着していた岩状の泥（直径約60cm）が約2mの高さから落下し、被災者に当たった。	飛来、落下	建設機械等
5	11:00～12:00	建築工事業	1～9	50代男	マンション新築工事現場にて深さ約4mの掘削床を敷均していたところ地山が崩壊し生埋めとなった。	崩壊、倒壊	環境等
6	21:00～22:00	土木工事業	1～9	70代男	工事現場から出た廃材の収集・搬出・分別等の作業を終えた後、被災者が徒歩で会社に戻っていたところ乗用車に衝突された。	交通事故（道路）	乗物

労働災害による死亡者が増加しています！

福岡県内の労働災害による死亡者は、令和4年は20人と過去最少を記録しました。しかし、令和5年に入り死亡災害が多発しており、9月4日現在で20人もの尊い命が失われています。これは、**前年同期比で7人増**という極めて憂慮すべき状況です。

また、死亡者数20人のうち4人(20%)を陸上貨物運送事業が占めています。

このように、福岡県内の死亡災害が多発している現状をご理解いただき、本年12月末までの間、死亡災害の撲滅に向けた取組への強化を図ってください。



安全点検チェックシート

チェック項目	
<input type="checkbox"/>	安全衛生管理計画を作成し、計画的に実施していますか
<input type="checkbox"/>	トラックの荷役作業において、保護帽を着用させていますか
<input type="checkbox"/>	トラックの荷台への昇降は、昇降設備を使用させていますか
<input type="checkbox"/>	荷台での移動は、荷台端付近で背を荷台外側に向けないようにしていますか
<input type="checkbox"/>	積みおろしを行う者が安全に積みおろしができるように積み付けしていますか
<input type="checkbox"/>	荷の固定・固縛方法に係る安全教育を行っていますか
<input type="checkbox"/>	トラックを後退させる時は、後方の安全を確認させていますか
<input type="checkbox"/>	トラック降車時の逸走防止措置を徹底させていますか
<input type="checkbox"/>	フォークリフトの運転は、有資格者に行わせていますか
<input type="checkbox"/>	フォークリフト作業の作業計画を作成し、関係者に周知していますか

死亡災害発生事例（令和5年 陸上貨物運送事業）

番号	発生時間帯	業種	労働者数	年齢性別	災害発生状況	事故の型	起因物（中分類）
1	17:00～18:00	道路貨物運送業	30～49	50代男	被災者が公道（片側2車線）の上り線の左車線に貨物自動車を停車させ道路上に降りていたところ、同車線の後方から走行してきた軽自動車は路面凍結等のため制動（停止）できず被災者に接触した。	交通事故（道路）	乗物
2	14:00～15:00	道路貨物運送業	1～9	70代男	荷主の作業場で、荷台上の3段に積まれた荷の積み方（安定性）が悪かったため、地面上でその状態を確認していたところ、上2段が被災者に向かって崩れ落ちその下敷きとなった。	崩壊・倒壊	荷
3	7:00～8:00	道路貨物運送業	30～49	60代男	荷主事業場にてトラック荷台からフォークリフト（他社労働者が運転）を使用して荷を卸し荷置場まで運搬する作業を行っていたところ、同機がバランスを崩し荷がフォークから崩れ落ち、被災者に当たった。	激突され	荷
4	9:00～10:00	道路貨物運送業	30～49	60代男	被災者がダンプカーのキャブ上でドラグショベル運転手（他社）を誘導しながらダンプカーに草を積み込む作業を行っていたが、同運転手が座席に座る際着用していた空調服が操作レバーに引っ掛かりアームが旋回した。その際、バケットがキャブ上の被災者に当たり地上に墜落した。	激突され	建設機械等

陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン

陸運業に従事する労働者の荷役作業での労働災害を防止するために、**荷役作業場所における安全の確保等**、陸運事業者、荷主、配送先、元請事業者などが取り組むべき事項を示したもの。



▲詳細はこちらをご覧ください

交通労働災害防止のためのガイドライン

交通労働災害の防止を図るための指針として、**安全な走行ができない可能性が高い発注の禁止等**、事業者や運転者の責務と、荷主、元請事業者等による配慮事項等を示したもの。



▲詳細はこちらをご覧ください